

最上川水系河川整備計画(知事管理区間) の変更について

平成26年11月19日

山形県 県土整備部 河川課

1. 最上川水系河川整備計画(河川整備計画)策定状況
2. 村山圏域の変更
 - (1) 既往計画について
 - (2) 平成25年7月洪水の水害状況(月布川)
 - (3) 整備計画変更の必要性
 - (4) 治水対策の目標と整備内容(月布川)
 - (5) 流域住民の意見
3. 置賜圏域の変更
 - (1) 既往計画について
 - (2) 平成26年7月洪水の水害状況(吉野川、織機川)
 - (3) 平成25年洪水との比較(吉野川、織機川)
 - (4) 整備計画変更の必要性
 - (5) 治水対策の目標と整備内容(吉野川、織機川)
 - (6) 流域住民の意見
4. ソフト対策について
5. 今後のスケジュール

最上川水系河川整備基本方針
(平成11年12月1日決定)

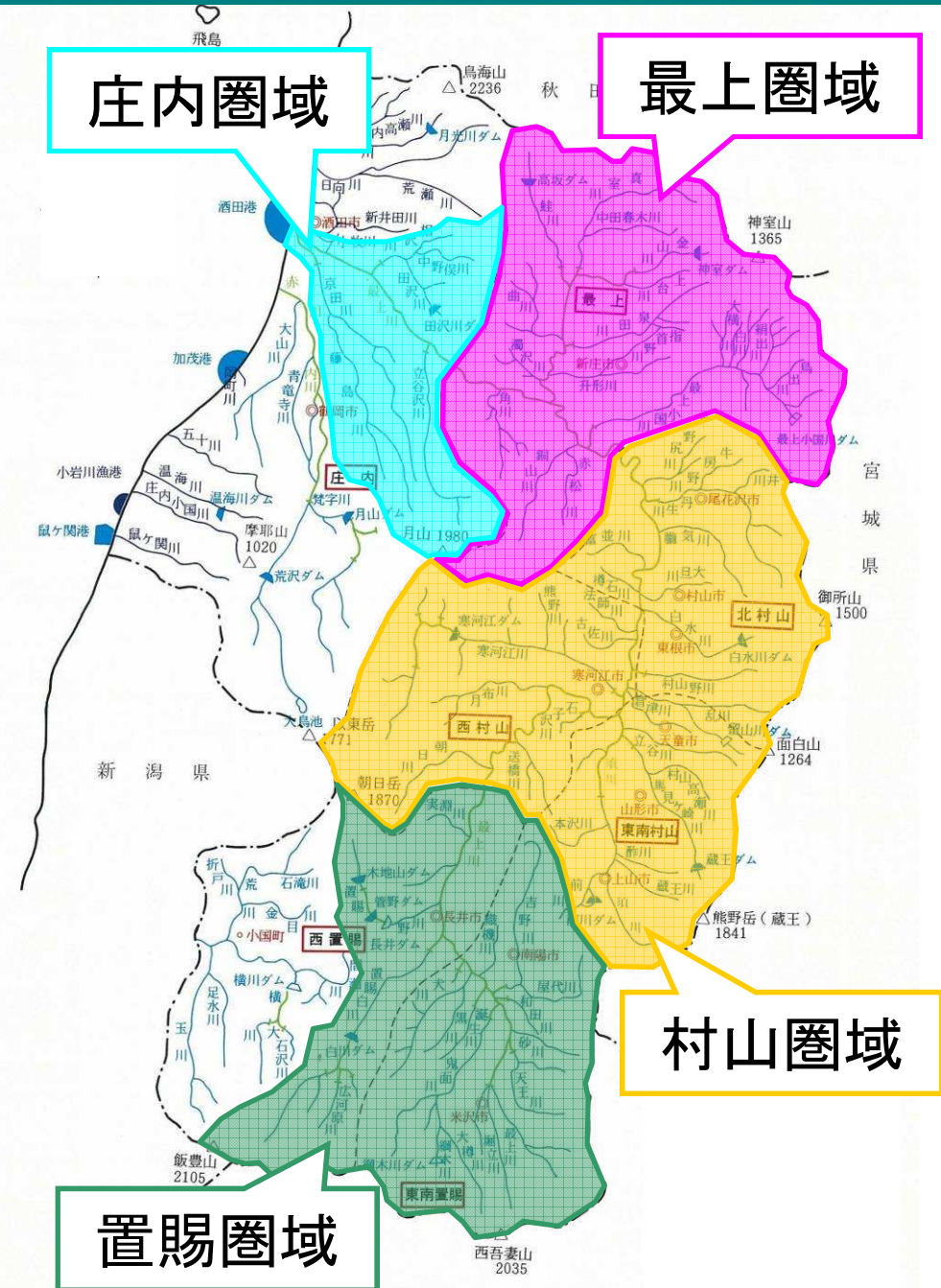


置賜・村山・最上・庄内圏域
河川整備計画
(平成15年9月24日決定)

最上圏域河川整備計画変更
(平成19年1月16日一部変更)

村山圏域河川整備計画変更
(平成25年3月1日一部変更)

置賜圏域河川整備計画変更
(平成26年6月20日一部変更)



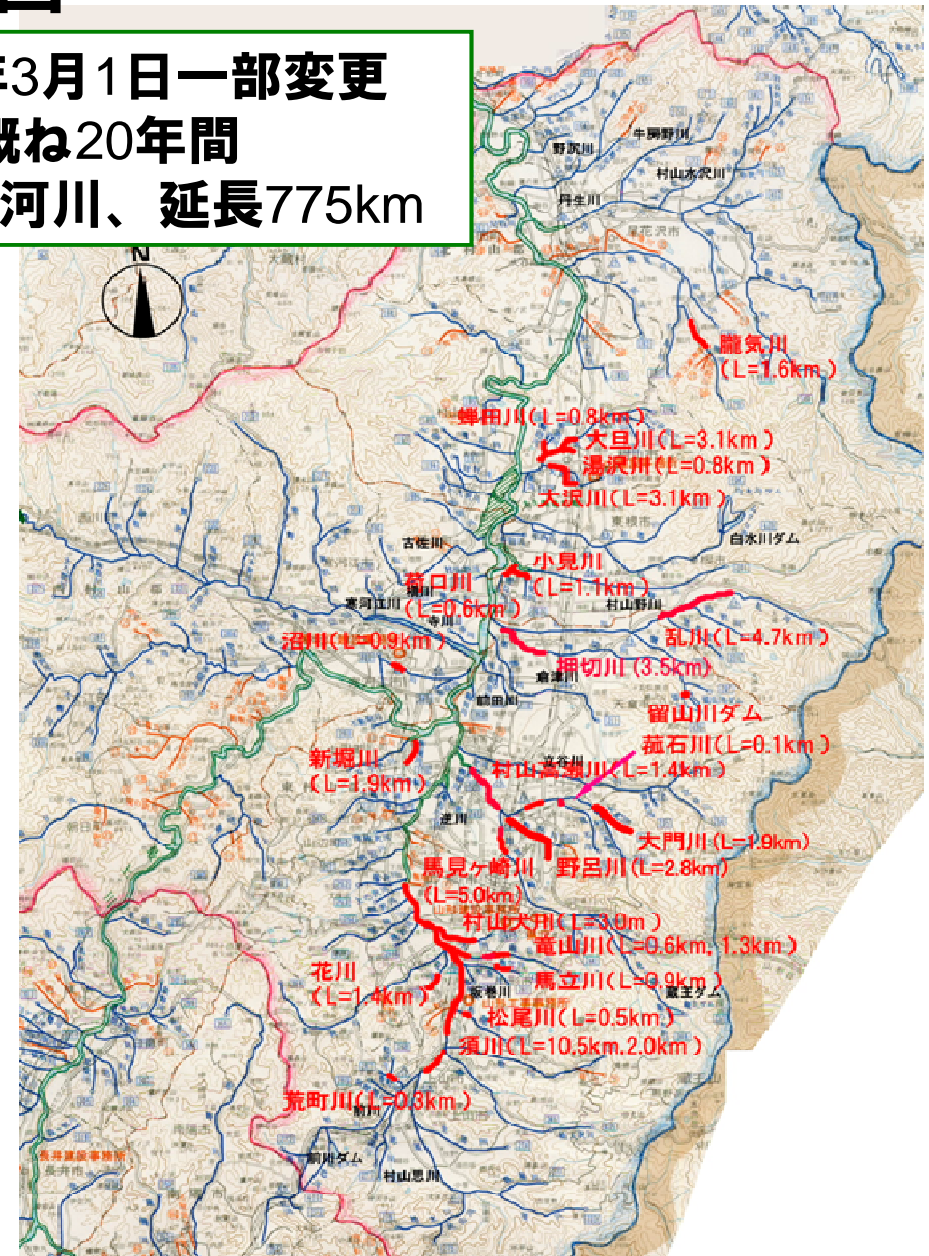
2. 村山圏域河川整備計画の変更について (知事管理区間)

最上川水系村山圏域河川整備計画

策定年度：平成15年9月24日策定、平成25年3月1日一部変更
計画対象期間：策定時（平成15年度）から概ね20年間
計画対象区間：村山圏域の知事管理区間149河川、延長775km

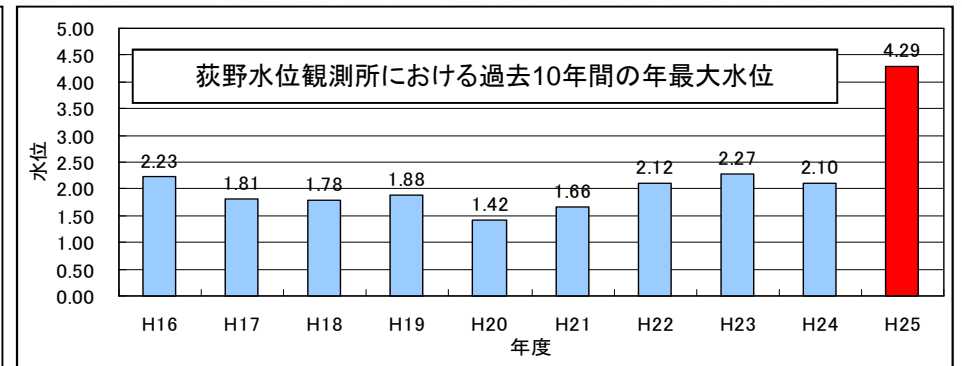
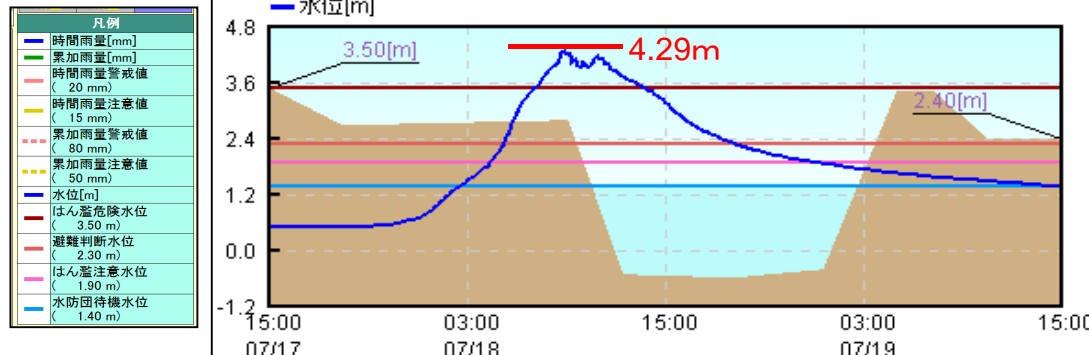
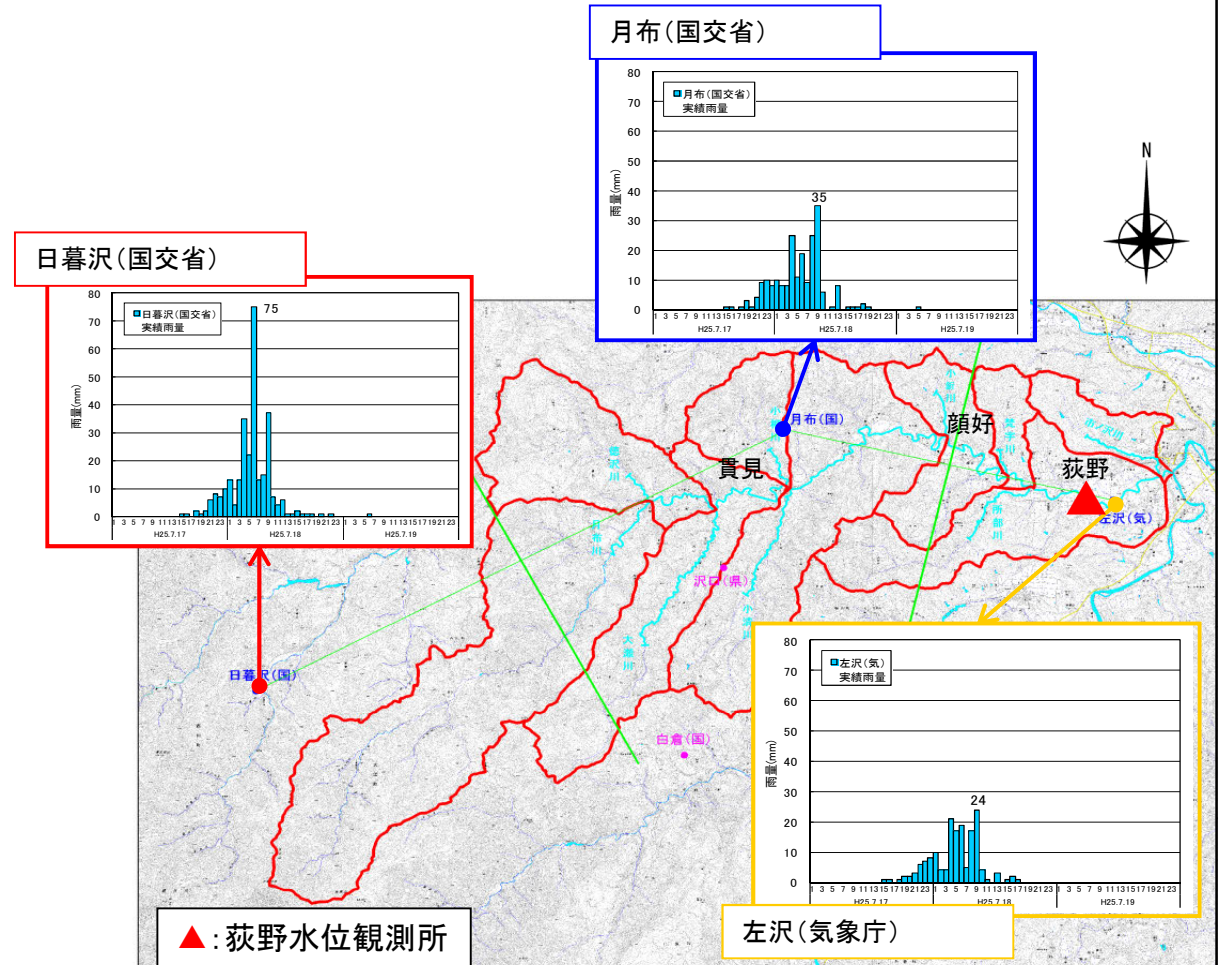
抜本的な河川整備を行う河川として、23河川を設定

一次支川名	河川名	施行場所	
臈気川	臈気川	松母橋上流1.2km 地点から上流1.6km 区間	
大旦川	大旦川	最上川合流点上流1.9km 地点からJR鉄道橋までの3.1km 区間	
	大沢川	大旦川合流点から国道13号上流までの3.1km 区間	
	蟬田川	大旦川合流点から浮沼橋までの0.8km 区間	
荷口川	荷口川	村山野川合流点から上流の0.6km 区間	
	小見川	荷口川合流点から上流の1.1km 区間	
乱川	乱川	本郷橋から上流4.7km 区間	
	押切川	乱川合流点から上流3.5km 区間	
	留山川	押切川合流点上流0.8kmの地点にダムを整備	
沼川	沼川	最上川合流点上流3.5kmの地点より上流の0.9km 区間	
須川	須川	直轄管理区間境界から上流の10.5km 区間と竜王橋上流0.1kmの地点から上流の2.0km 区間	
	村山犬川	須川合流点から上流の3.0km 区間	
	竜山川	須川合流点上流0.6km 地点から上流0.6km 区間及び須川合流点上流2.2km 地点から上流1.3km 区間	
	花川	須川合流点上流1.6km 地点から上流1.4km 区間	
	馬立川	坂巻川合流点から上流0.9km 区間	
	松尾川	国道13号橋上流の0.5km 区間	
	荒町川	八幡橋上流0.5km 地点から上流0.3km 区間	
	馬見ヶ崎川	馬見ヶ崎川	直轄管理区間境界から上流3.3km 区間及び村山高瀬川合流点上流0.9kmの地点より千歳橋までの1.7km 区間
		村山高瀬川	馬見ヶ崎川合流点上流1.2km 地点(北柳橋)から国道13号橋下流までの1.4km 区間
	野呂川	野呂川	村山高瀬川合流点上流0.3km 地点から上流2.8km 区間
菰石川		村山高瀬川合流点上流0.1km 地点から上流0.1km 区間	
大門川	大門川	村山高瀬川合流点上流0.2km 地点から上流1.9km 区間	
	新堀川	石子沢川合流点から上流1.9km 区間	

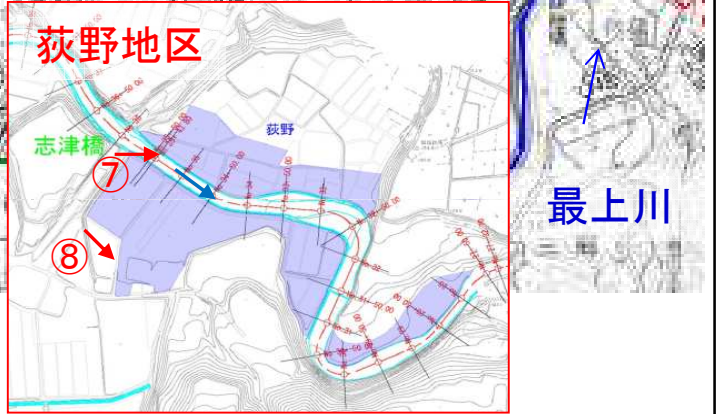
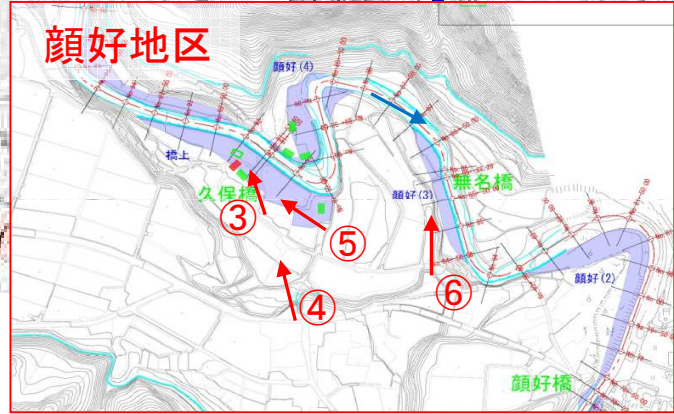
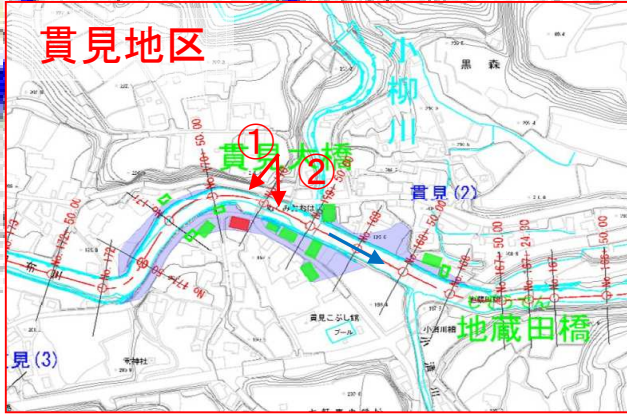


2. 村山圏域の変更（2）平成25年7月洪水の水害状況（月布川）

- 被災月日 平成25年7月17日～7月18日
- 気象事由 低気圧に伴う大雨
- 降雨量 総雨量292mm
時間最大雨量75mm
(日暮沢[ひぐれさわ]雨量観測所)
- 被災地区 大江町 顔好地区、貫見地区
荻野地区
- 被災状況 一部損壊：1棟、床上浸水：2棟、
床下浸水：25棟
農地冠水、護岸流出ほか
(H25. 12. 20時点山形県災害対策本部資料)



2. 村山圏域の変更 (2)平成25年7月洪水の水害状況(月布川)



①貫見大橋上流右岸



②貫見大橋上流右岸



③久保橋右岸



④久保橋全景



⑤久保橋下流左岸



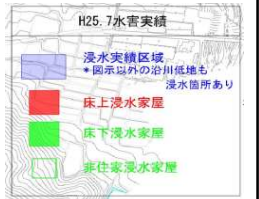
⑥無名橋全景



⑦志津橋下流左岸



⑧志津橋下流右岸



大江町の月布川において、平成25年7月に洪水被害発生



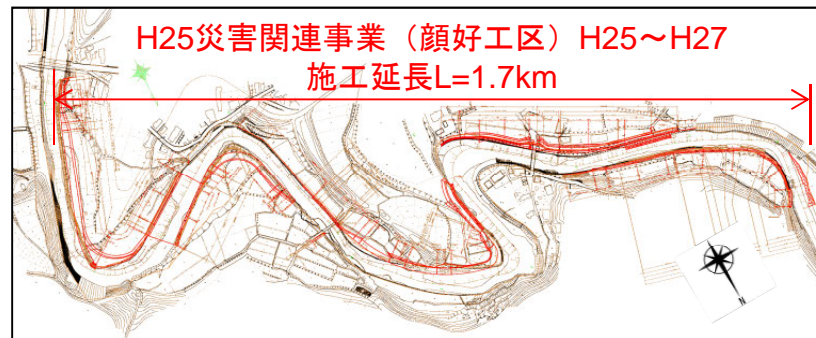
- ・ 貫見地区と顔好地区で災害関連事業を実施
- ・ 荻野地区でも河川改修を実施

災害関連事業とは、被災した施設の復旧にあわせて、流下能力の向上に向けて、築堤や河床掘削等の河川改良も同時に行う事業

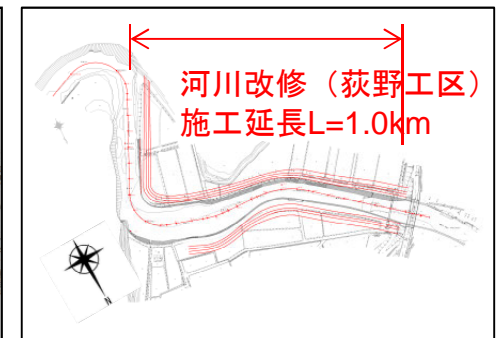
貫見地区



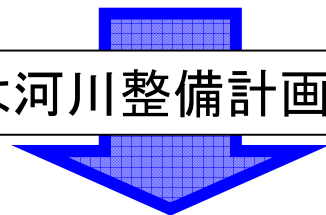
顔好地区



荻野地区



抜本的な河川整備は河川整備計画への位置づけが必要



一級河川最上川水系村山圏域河川整備計画を変更

整備目標：月布川において、平成25年7月豪雨規模による
洪水を安全に流下させる

整備区間：貫見地区

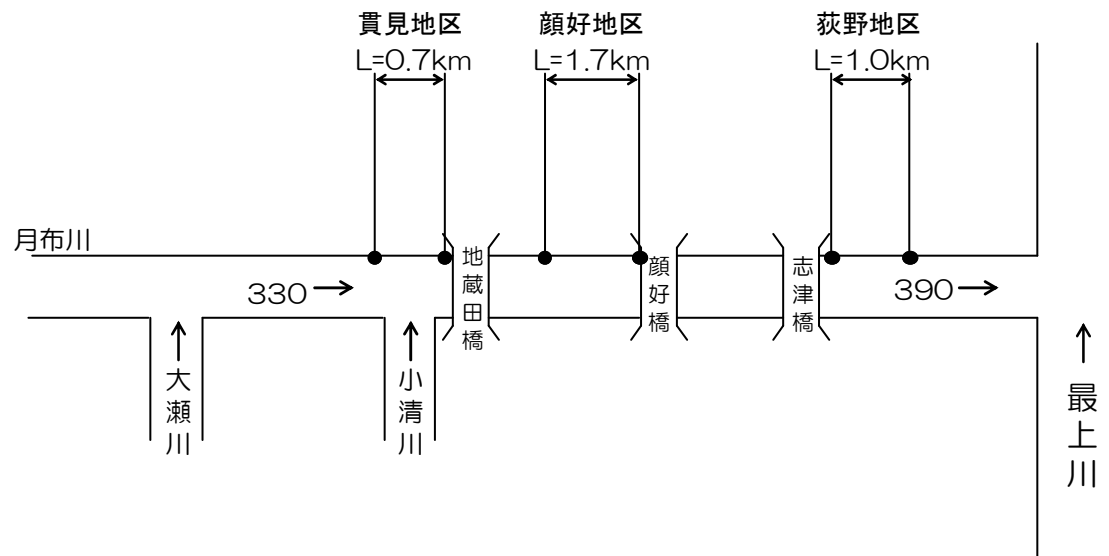
(最上川合流地点上流16.7km地点から上流0.7km区間)

顔好地区

(最上川合流地点上流7.8km地点から上流1.7km区間)

荻野地区

(最上川合流地点上流2.7km地点から上流1.0km区間)



○ 月布川

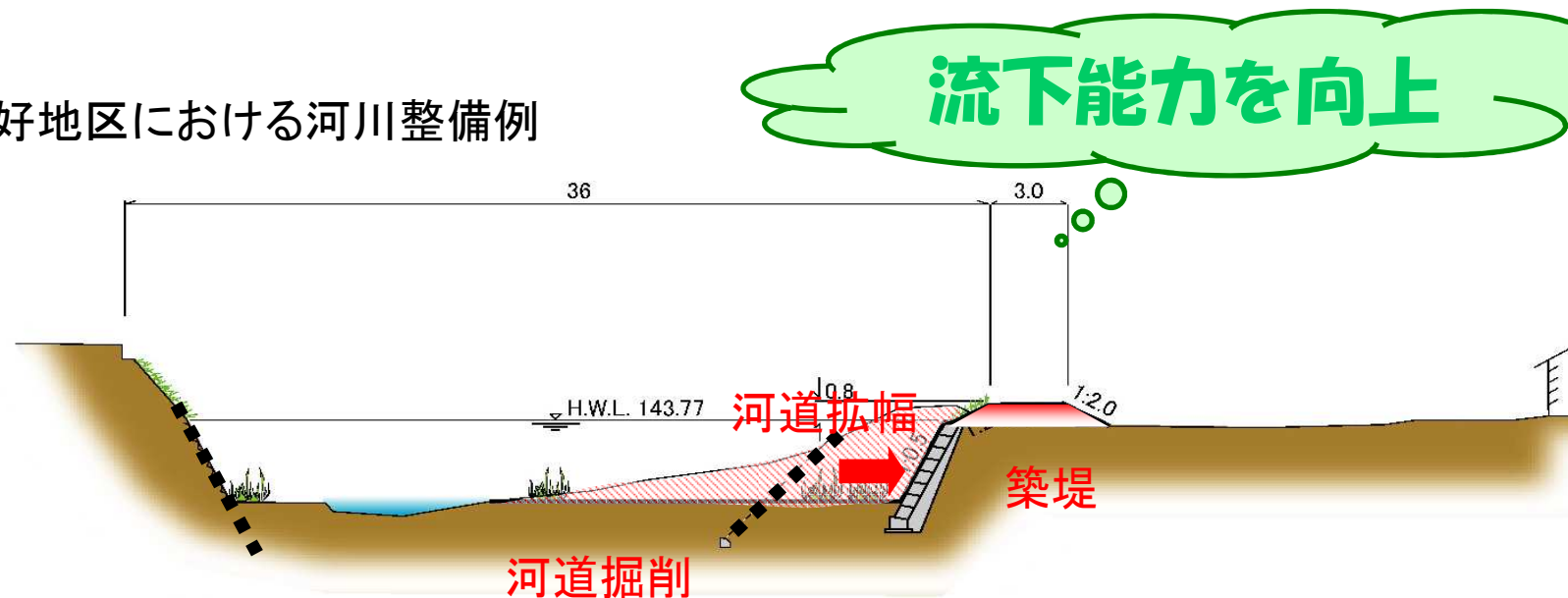
1) 河道の整備

月布川では流下能力を向上させるために、河道拡幅・築堤・河道掘削を実施する。

2) 配慮事項

河床幅を広くとることで自由度の高いみお筋や水際を形成するとともに、必要に応じて水衝部や高流速部に護岸や護床工の設置を検討する。護岸は、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した構造とする。

顔好地区における河川整備例



河川法 第十六条の二の4に基づき、住民の意見を聴取

◆住民公聴会

日時：平成26年5月27日

会場：大江町中央公民館

参加者：26名



◆パブリックコメント

日時：平成26年8月25日～ 平成26年9月24日（1ヶ月間）

【周知方法】

県HP、総合支庁総合窓口、大江町建設水道課、大江町報

◆主な意見・質問項目と分類

項 目	意見分類(3分類)	備考
【治水】治水対策について	上下流バランスについて	
	支川の処理について	
【環境】河川環境の保全と復元	環境への配慮について	

◆具体的内容と回答

質問 項目:治水 意見分類:上下流バランスについて

○荻野地区、顔好地区、貫見地区と月布川上流域での改修であり、下流への影響が懸念されるがどう考えているか。

【回答】

月布川における改修計画の策定については、対策を実施する箇所だけでなく、最上川に合流するまでの全ての区間について流下能力を確認し、上流の改修により下流に影響が出ないことを確認しております。

質問 項目:治水 支川の処理について

○月布川の支川、市の沢川の月布川合流点には水門がある。この水門が洪水時、支川の流下を阻害していると感じた。整備計画に支川の改修は含まれないのか。

<回答>

月布川の水位が市の沢川の背後地盤高さより高くなったことで内水被害が生じている。市の沢川流域における被害状況から、整備の必要性や方法について現在、検討を進めています。

質問 項目:環境 環境への配慮について

○月布川の改修における配慮事項として、護岸は、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した構造とするとあるが、具体的にどのような護岸なのか。

<回答>

生物の生息・生育・繁殖空間や移動経路となる空隙や凹凸、透水性の確保など、自然の河岸が備えている機能と同等の機能を有する護岸の素材や構造を検討します。



多自然川づくりにおける
護岸の取り組み例

護岸に空隙があることにより、動植物の生育・生息場所を確保し、河川景観や自然環境に対する影響を少なくする。

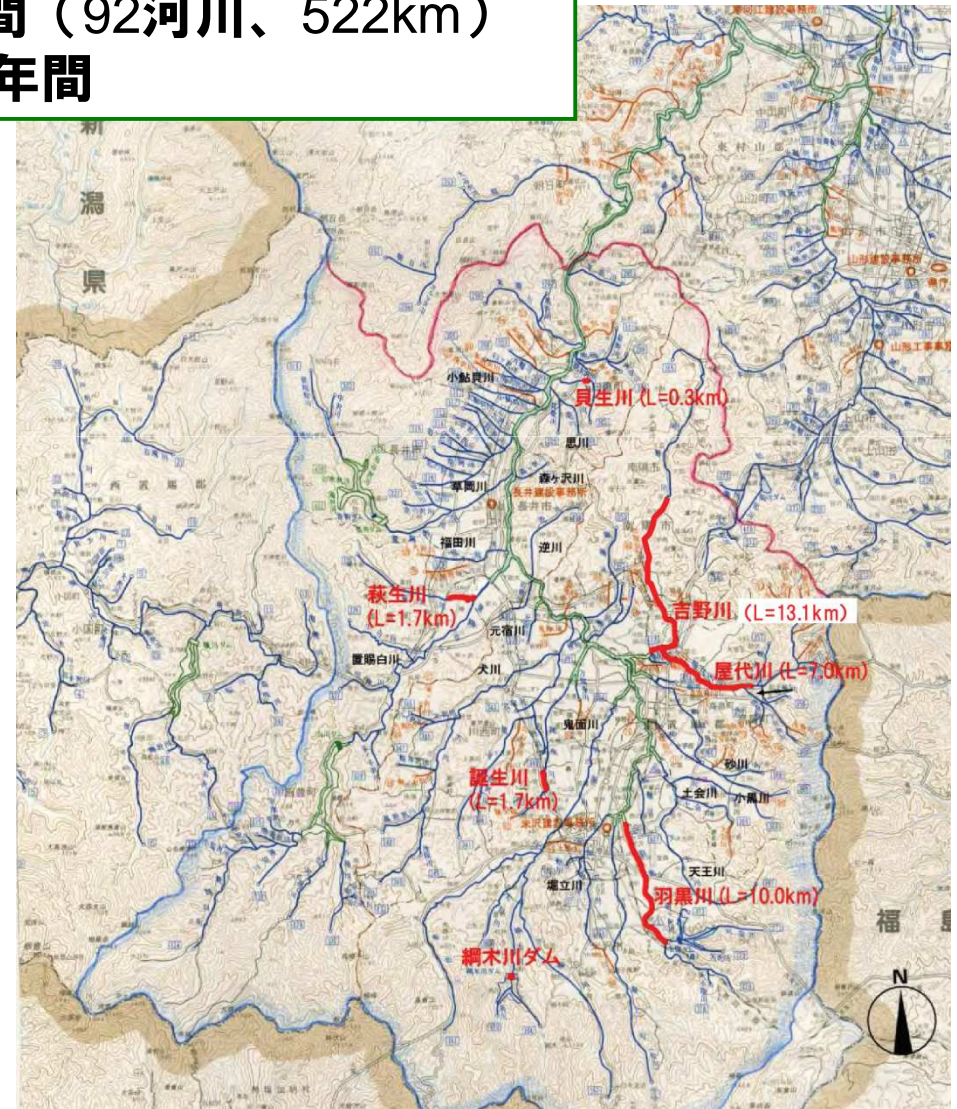
3. 置賜圏域河川整備計画について (知事管理区間)

最上川水系置賜圏域河川整備計画

策定年度：平成15年9月24日策定、平成26年6月20日一部変更
対象区間：置賜圏域のすべての知事管理区間（92河川、522km）
対象期間：策定時（平成15年）から概ね30年間

抜本的な河川整備を行う河川として、7河川を設定

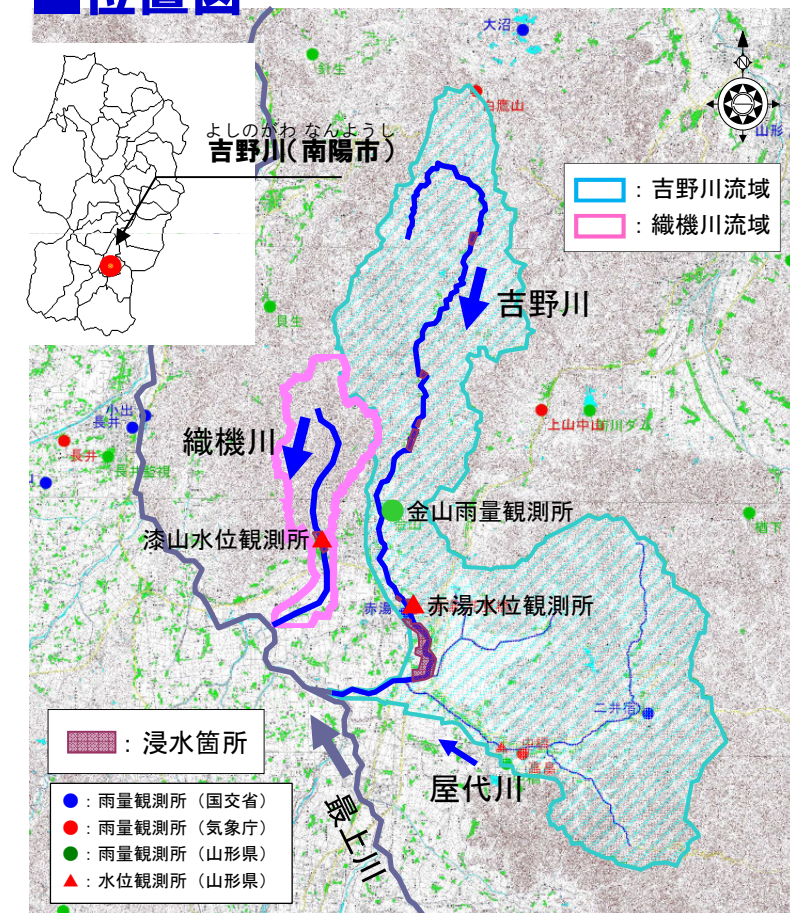
一次支川名	河川名	施工場所
貝生川	貝生川	最上川合流点上流 1.5km 地点から貝生地区までの 0.3km 区間
置賜白川	萩生川	置賜白川合流点から吉祥寺橋下流までの 1.7km 区間
誕生川	誕生川	最上川合流点上流 8.5km 地点から国道 287 号上流 0.5km 地点までの 1.7km 区間
吉野川	吉野川	最上川合流点上流 2.0km (JR 奥羽本線第一吉野川橋梁) から原橋上流 0.3km までの 13.1km 区間
	屋代川	吉野川合流点から上流 7.0km 区間
鬼面川	綱木川	米沢市大字築沢字糸畔地先に多目的ダムを整備する。
羽黒川	羽黒川	最上川合流点から刈安川合流点上流 J R 橋までの 10.0km 区間



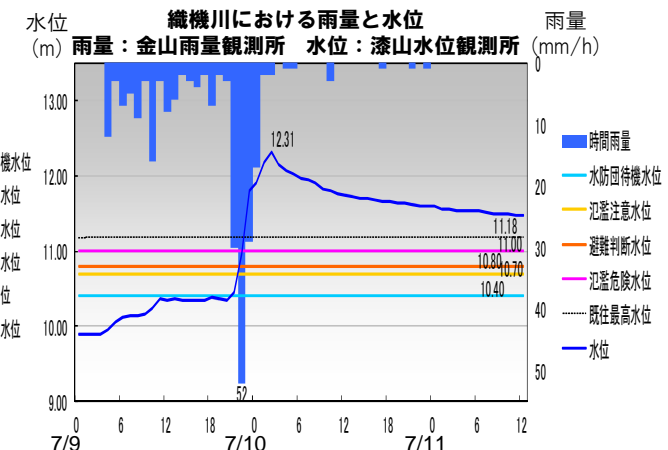
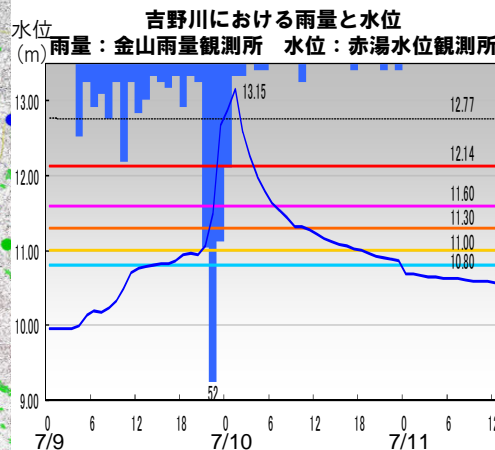
3. 置賜圏域の変更 (2)平成26年7月洪水の水害状況(吉野川、織機川)

- 被災月日 平成26年7月9日～7月10日、 ●気象事由 梅雨前線と台風8号
- 降雨量 総雨量232mm、 時間最大雨量52mm (金山雨量観測所)
- 被災地区 吉野川 (南陽市金山地区、赤湯～宮内地区)
織機川 (南陽市漆山地区)
- 被災状況 住宅全壊：1棟、半壊：8棟、床上浸水：172棟、床下浸水：307棟 (H26. 10. 8時点、山形県災害対策本部資料)
橋梁損壊3橋、鉄道橋梁背後地流出1箇所、農地冠水、護岸流出ほか

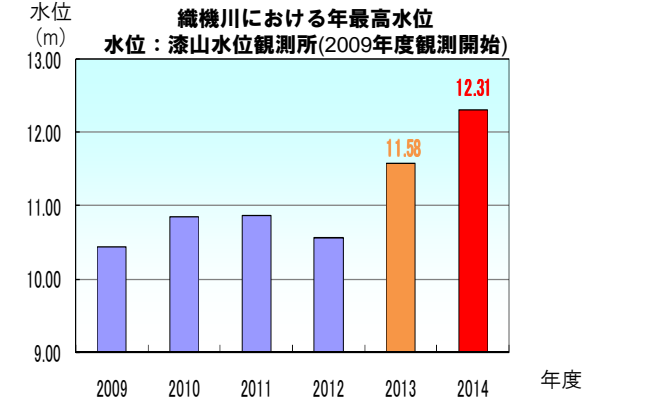
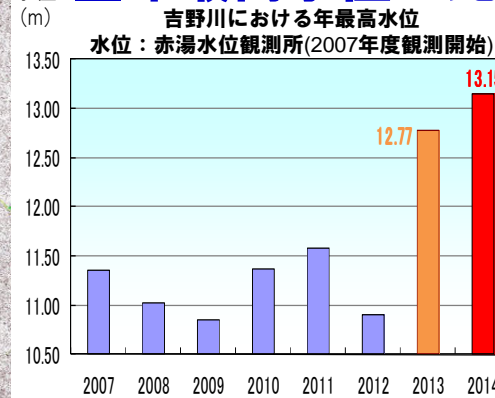
位置図



水位・時間雨量



年最高水位の比較



3. 置賜圏域の変更 (2)平成26年7月洪水の水害状況(吉野川)



⑤市街地浸水状況



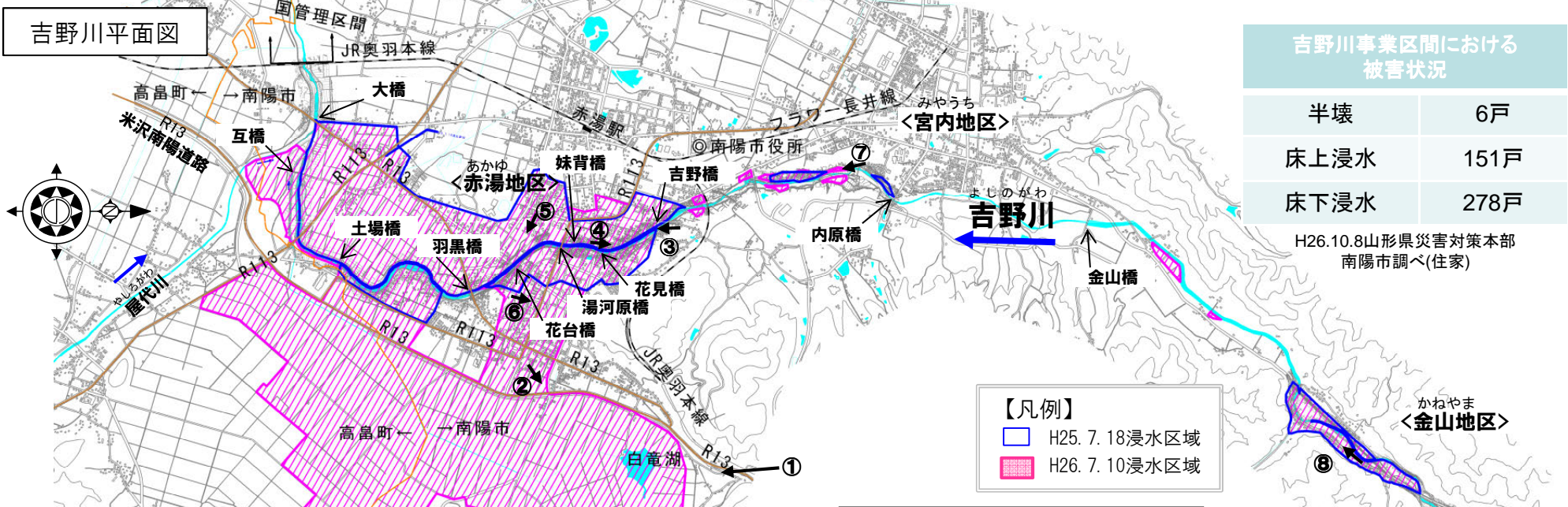
⑥家屋浸水状況



⑦取水施設被災状況



⑧市道橋落橋状況



吉野川事業区間における被害状況

半壊	6戸
床上浸水	151戸
床下浸水	278戸

H26.10.8山形県災害対策本部
南陽市調べ(住家)



①白竜湖周辺湛水状況



②市街地端部浸水状況



③市道妹背橋 流木による河積阻害



④市街地出水痕

3. 置賜圏域の変更 (2)平成26年7月洪水の水害状況(織機川)



①東屋敷橋被害状況



②東屋敷橋被害状況



③東屋敷橋上流右岸被害状況



④フラワー長井線被害状況

織機川平面図



- : 浸水範囲
- : 半壊・床上浸水 (18戸)
- : 床下浸水 (20戸)
- : 被災箇所 (施設)
- : 被災箇所 (埋塞)

H26.10.8山形県災害対策本部
南陽市調べ(住家)



⑤漆山水位観測所状況
土砂による河道埋塞



↑漆山水位観測所
H25.8.6(通常時)



⑥浸食による護岸欠壊

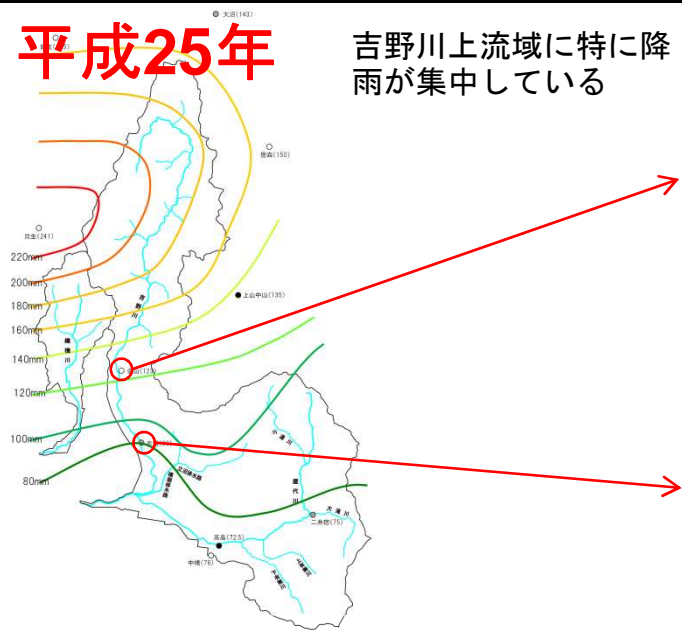


⑦四谷橋被害状況

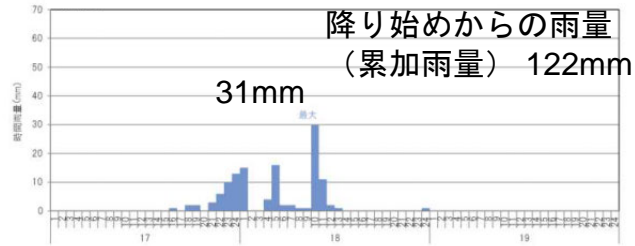
3. 置賜圏域の変更 (3)平成25年7月洪水との比較(吉野川、織機川)

平成25年

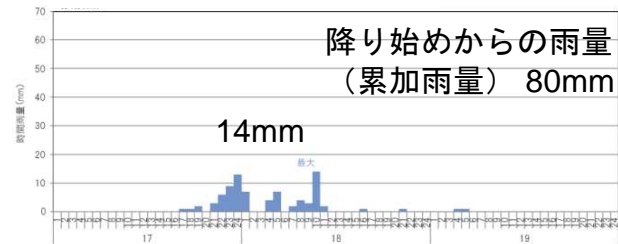
吉野川上流域に特に降雨が集中している



金山雨量観測所 (県)



赤湯雨量観測所 (国)

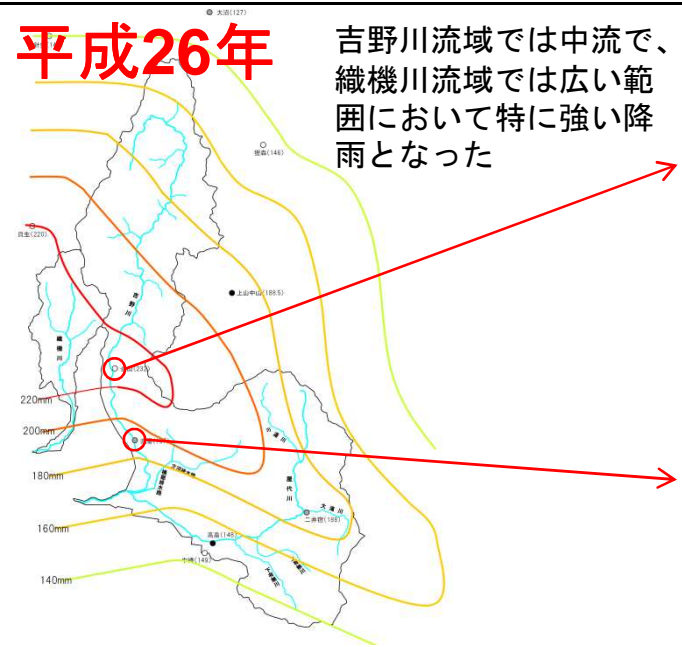


H25→H26

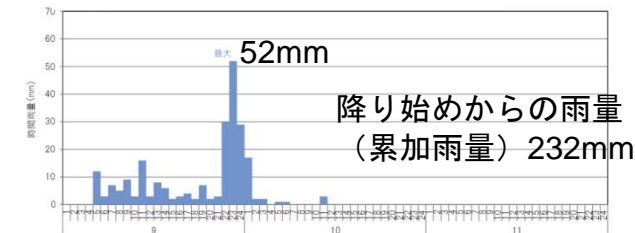
赤湯雨量観測所：
時間最大雨量 3.1倍
累加雨量 2.4倍

平成26年

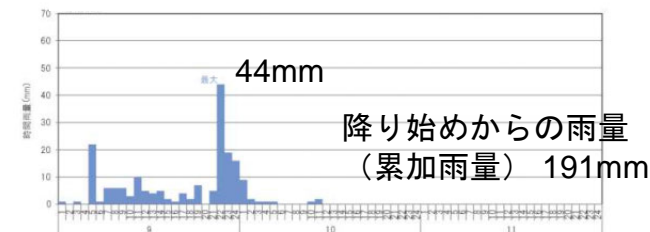
吉野川流域では中流で、織機川流域では広い範囲において特に強い降雨となった



金山雨量観測所 (県)



赤湯雨量観測所 (国)



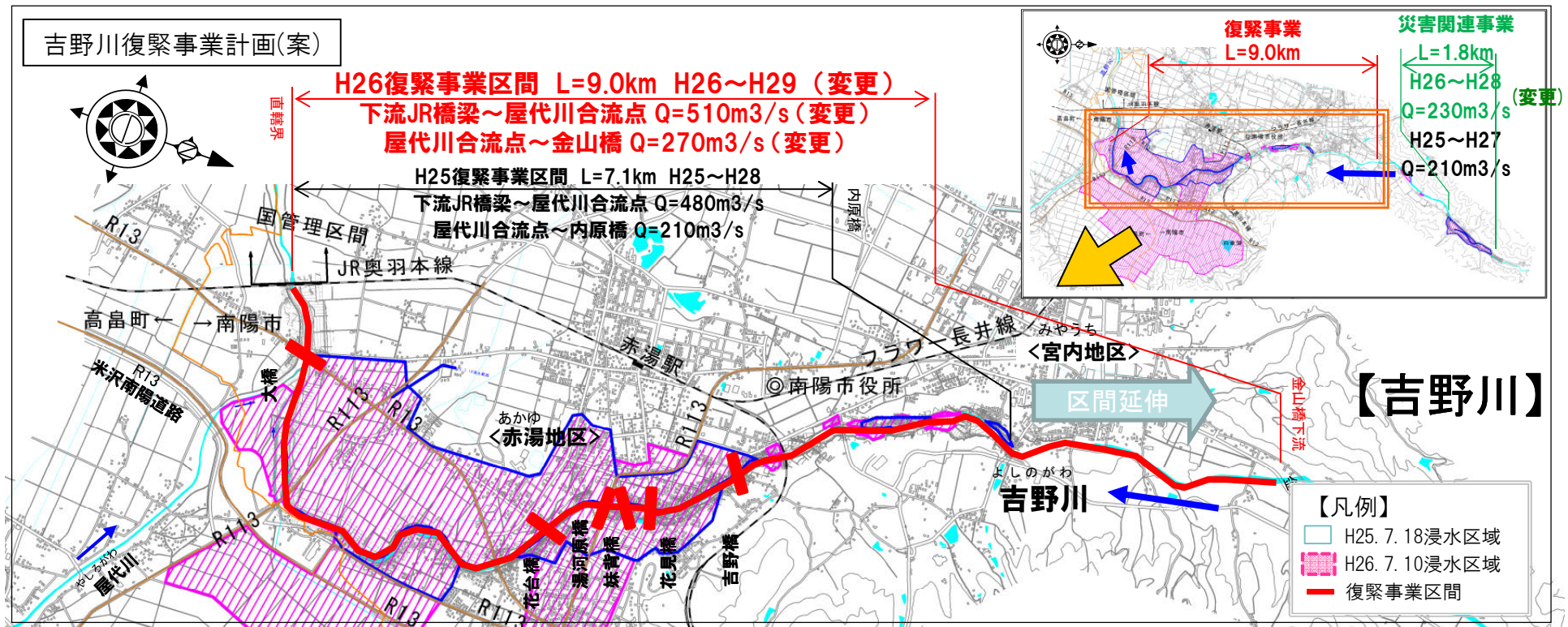
金山雨量観測所：
時間最大雨量 1.7倍
累加雨量 1.9倍

南陽市の吉野川、織機川において、平成26年7月に洪水被害発生



- ・吉野川では河川災害復旧等関連緊急事業(復緊事業) 及び災害関連事業計画の見直しを実施
- ・織機川では災害関連事業を実施

河川災害復旧等関連緊急事業とは、上流で計画流量を増加する河川改良復旧を行う場合に、これと一体的に下流側で行う緊急かつ集中的に実施する河川改修事業





抜本的な河川整備は河川整備計画への位置づけが必要

一級河川最上川水系置賜圏域河川整備計画を変更

整備目標：戦後最大の被害をもたらした昭和42年8月の羽越水害を安全に流下させること、また、**吉野川上流区間及び織機川については平成26年7月豪雨規模による洪水を安全に流下させる**

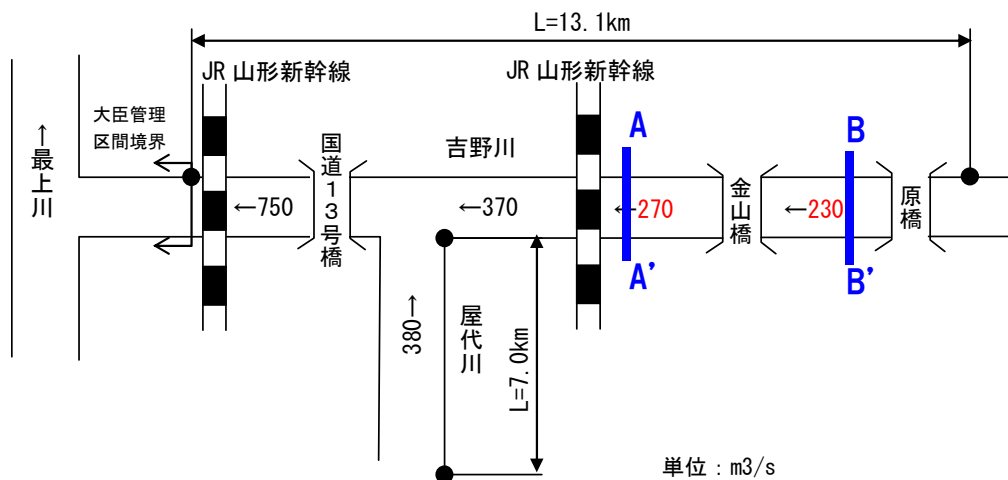
整備区間：吉野川

最上川合流点上流2.0km (JR奥羽本線第一吉野川橋梁) から原橋上流0.3kmまでの13.1km区間

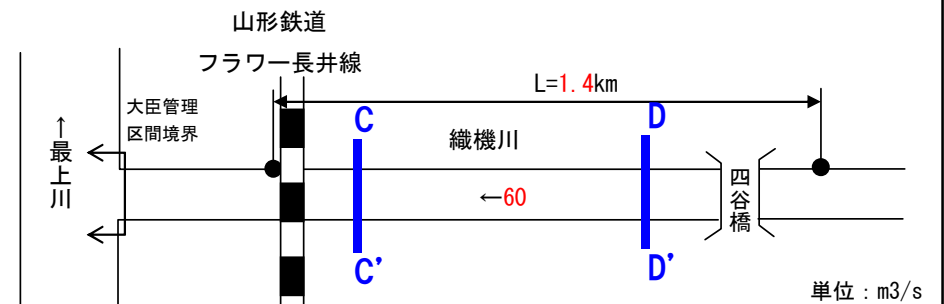
織機川

最上川合流点上流4.0kmから四谷橋上流0.4kmまでの1.4km区間

◆吉野川



◆織機川



○ 吉野川

1) 河道の整備

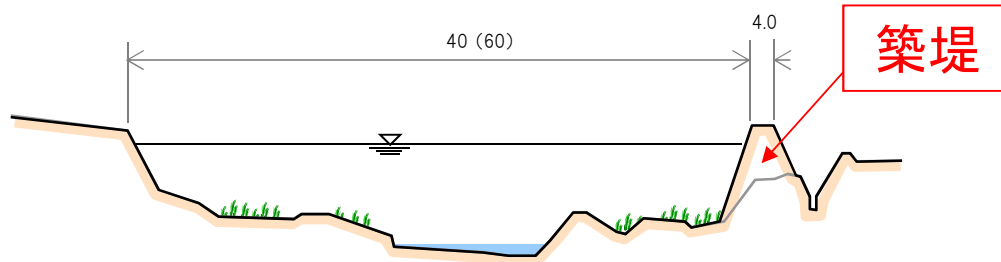
流下能力を向上させるために、築堤、引堤・河道掘削を実施する。吉野川本川においては、治水上のネック箇所となっているJR山形新幹線橋梁他の改築を行う。

2) 配慮事項

吉野川の下流部においては、築堤と引堤、河道掘削を行うことから、水際部については現在の良好な河川環境を可能な限り復元することにより、魚類の生息環境について配慮する。上流部は、市街地を貫流することから、**景観・親水性**に配慮する。屋代川においては、河道掘削を行うことから、現在の良好な河川環境を可能な限り保全・復元する。また、既設床止め工に魚道を整備し、魚類の生息環境の保全・復元に配慮する。なお、水衝部などの護岸が必要な範囲に、自然に配慮した護岸を施工する。

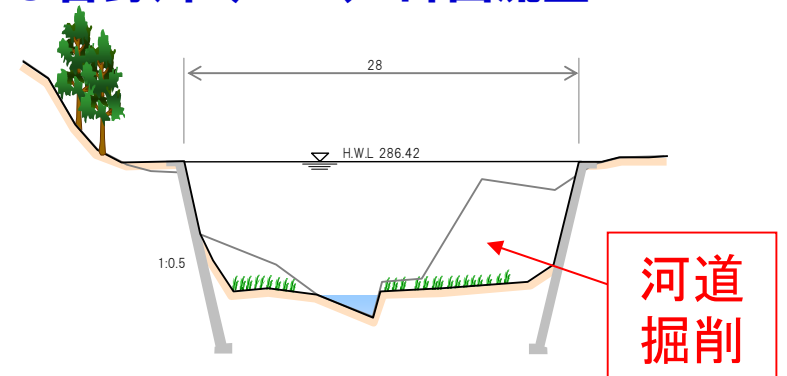
築堤により流下能力を向上

○吉野川 (A-A') 計画流量270m³/s



河道掘削により河積を確保

○吉野川 (B-B') 計画流量230m³/s



○ 織機川

1) 河道の整備

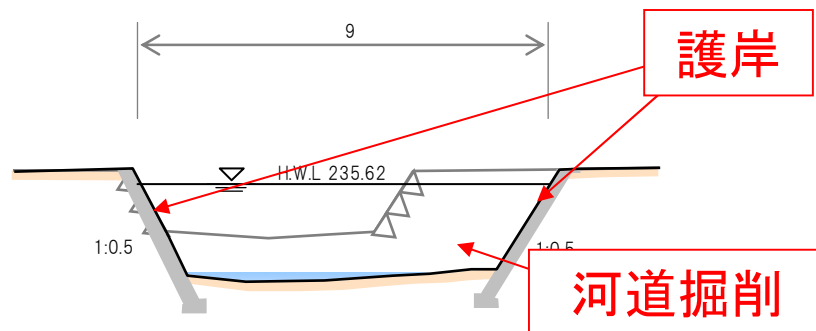
流下能力の不足している区間において、引堤・河道掘削を実施する。

2) 配慮事項

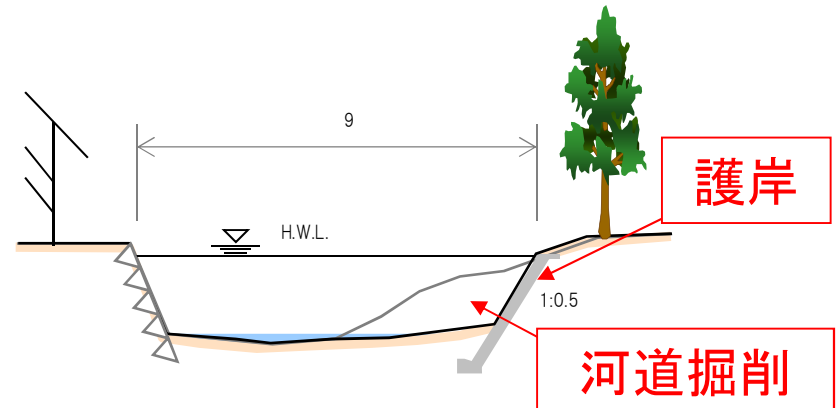
出水時、土砂や倒木が流出するなど、河岸の浸食により被害が拡大したことから浸食対策として護岸を整備する。また、市街地を貫流する区間であることから、護岸については、自然環境や景観に配慮した構造とする。

河道掘削により流下能力を向上、
護岸整備により浸食による土砂流出・流木対策

○織機川 (C-C') 計画流量60m³/s



○織機川 (D-D') 計画流量60m³/s



◆住民公聴会

- ①平成26年10月28日えくぼプラザ（南陽市赤湯）参加者：30名
- ②平成26年10月29日ワトワセンター（南陽市宮内）参加者：13名
- ③平成26年10月30日漆山公民館（南陽市漆山）参加者：17名



◆パブリックコメント

日時：平成26年10月15日～平成26年11月14日（1ヶ月間）

【周知方法】

県HP、総合支庁総合窓口、南陽市建設課

◆主な質問・意見項目と分類

項目	意見分類(4分類)	備考
【治水】治水対策について	洪水被害に対する治水対策について	
	他機関との連携	河川整備計画記載内容の変更
	支川の処理について	
【利水】河川水の利用	水利使用について	

◆具体的内容と回答

意見 項目:治水 意見分類:洪水被害に対する治水対策について

- 吉野川の越水箇所にて大型土のうが積んであるが、この状況はいつまで続くのか。
- 羽黒橋下流の河道掘削はいつ頃実施するのか。
- 今回出水時、もう30分降雨が長引けば堤防を越えていた。今後の堤防の計画はどうなっているのか。
- 赤湯中学校グラウンド付近で堤防が低い箇所がある。どのような対応となるのか。
- 南陽市の下水道で雨水排水整備の計画があるが、一部完成後、事業が進んでいないのではないのか。
- 厨川堰の上流で堤防が決壊している。護岸整備を要望する。
- 厨川堰が落差のある固定堰であることから、川の水位を上げ、土砂も堆積させる。構造について検討いただきたい。
- 和泉堰上流で浸食被害があった。堰の上流1km程度は護岸を設置してほしい。
- 現在、土のうなどの仮設により対応しているが、本格的な工事はいつから実施するのか。
- 来年も出水被害があったらどうするのか。
- 川底が岩盤であり、掘削できない部分はどのように対応するのか。
- フラワー長井線の被災箇所は袋詰め玉石で対応しているが、これで完成なのか。

<回答>

改良復旧事業の実施により、早期の効果発現に努めたい。

意見 項目: 治水 意見分類: 他機関との連携

- 洪水時、橋に引っ掛かっていた流木の多くは間伐材であった。放置されている間伐材について対策は考えているのか。
- 流域内の田畑の荒廃により、貯水能力が落ち、一気に水が出て一気に引いていくような出水形態を生んでいると感じている。河川だけの計画ではなく、農林分野も含めた計画を練ってほしい。
- 織機川の被害は上流からの土砂流出が大きな要因となっているが上流域における対策は考えているか。

<現計画>

2-3-2 関連施策との連携による効率的な整備・管理の推進

計画の目標を実現するため、関係機関と連携を図り、本計画に基づく整備を効率的、効果的に推進する。
また、流域内において土石流等に対処するための砂防対策や治山対策が必要な箇所については、関係機関との情報交換を行いながら効率的な整備の推進に寄与する。

<変更>

2-3-2 関連施策との連携による効率的な整備・管理の推進

計画の目標を実現するため、関係機関と連携を図り、本計画に基づく整備・管理を効率的に推進する。
特に、上流域からの土砂供給量が多い河川においては、砂防事業者や治山事業者等、関係機関との情報交換や調整に努め、十分に連携していく。

質問 項目:治水 意見分類:支川の処理について

○吉野川の改修に合わせ、屋代川についても改修をするのか。また、洪水時白竜湖からの排水路(横掘排水路)が流れずに、広い範囲が浸水した。この部分についてどのような計画なのか。

<回答>

これまで屋代川は吉野川に先行して改修を進めてきたこともあり、今次出水では大きな被害は発生していません。また、農業用排水路である横掘水路の対策は基本的に各施設管理者で行うことになるが、今後復緊事業として吉野川の河床を下げる計画であり、これにより吉野川本川の水位が下がると、当然支川である屋代川や横掘排水路の水位を下げることに伴い、被害を軽減する効果があると考えている。

意見 項目:利水 意見分類:水利使用について

○織機川では古くから上流で分水し、かんがい用水や生活用水として地域で利用してきた。今後も利用できるようにしてほしい。

<考え方>

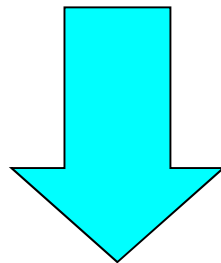
1-3-6 河川環境の整備と保全に関する事項

(4) 河川利用

河川の利用に関する多様なニーズに配慮して、レクリエーションやスポーツ、交流拠点となる場の創出を図り、心身の健康の増進に寄与する。

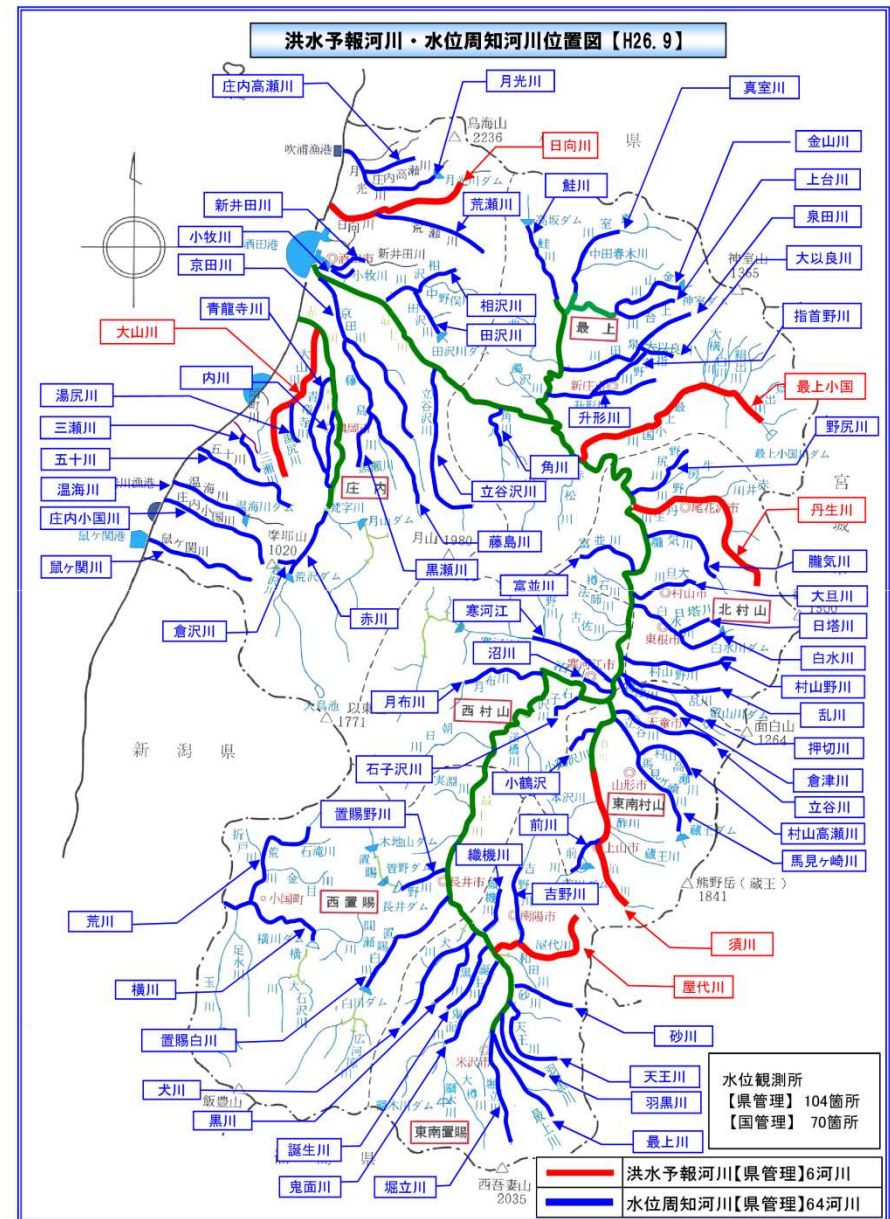
山形県 河川・砂防情報システムの整備

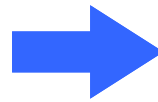
県が管理する554河川のうち、『洪水予報河川』・『水位周知河川』である主要70河川において、避難判断の目安となる水位を設定



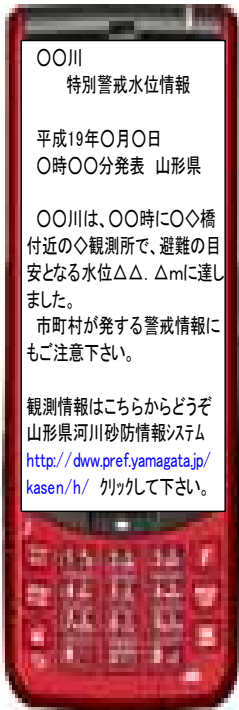
『河川・砂防情報システム』により、市町村の防災活動や避難勧告・指示等の目安となる雨量・水位情報、気象情報等の防災情報をリアルタイムで提供。

- ・ 山形県ホームページへのアクセス
- ・ 登録した携帯電話へのメール自動配信





メール配信により迅速な情報提供



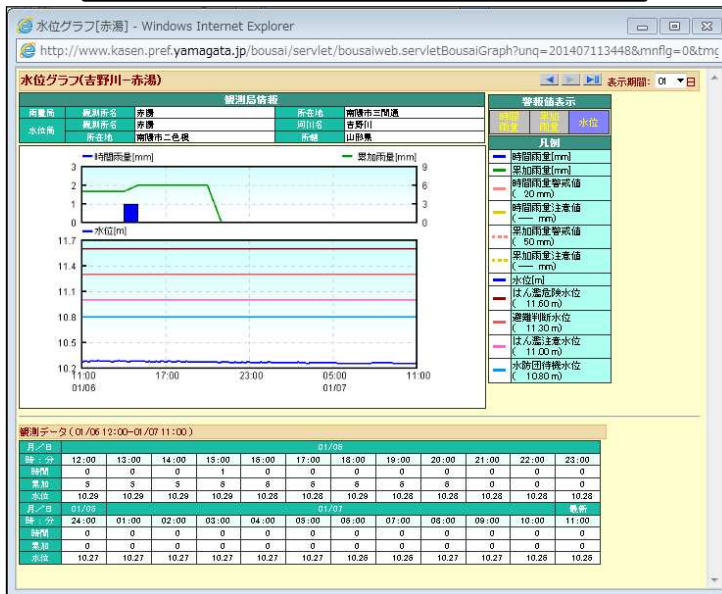
〇〇川
特別警戒水位情報

平成19年〇月〇日
〇時〇〇分発表 山形県

〇〇川は、〇〇時に〇〇橋
付近の◇観測所で、避難の目
安となる水位△△、△mに達し
ました。
市町村が発する警戒情報にも
ご注意ください。

観測情報はこちらからどうぞ
山形県河川砂防情報システム
<http://dww.pref.yamagata.jp/kasen/h/>
クリックして下さい。

水位・雨量の推移を確認可能



警戒区域情報として浸水想定区域も確認可能

山形県 河川・砂防情報

関連情報を一元化して発信

- 気象情報: 警報・注意報, 雨量情報, 水位情報
- 土砂災害: 土砂災害警戒情報, 土砂災害危険箇所
- ダム情報: タム情報, カメラ映像

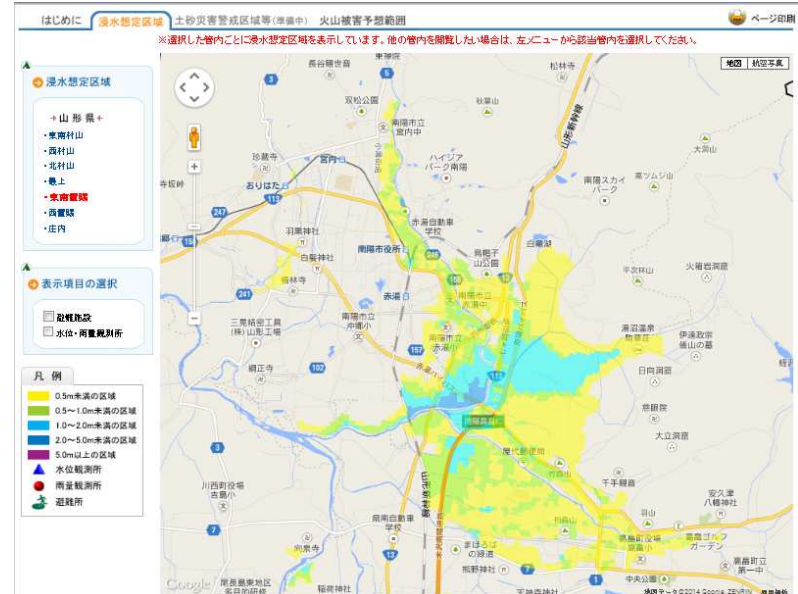
地図から探す: 全地域, 庄内, 北村山, 西村山, 東南村山, 西置賜, 東南置賜

警戒区域情報: 浸水想定区域 | 土砂災害危険箇所 | 火山被害想定区域

お知らせ: 10月24日更新

観測局の保守点検について (2011.10.24)
観測局の保守点検により、観測データの欠測、異常値の観測が発生する可能性がありますので御了承ください。対象観測局、点検期間は以下のとおりです。

庄内総合支庁管内
平成23年10月17日(月)から平成23年11月18日(金)まで
雨量: 荒木川、大平、大八重川、大台野、市桑、大蔵、温海支所、高坂、上野新田、栗川、白々沢、山楯、大宮町、小名部、関川、越沢、小国、五十川、山五十川、菅谷、豊野村



～河川整備計画（案）への記載内容～

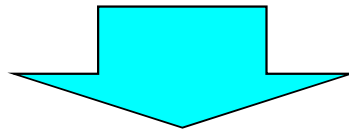
危機管理対策の推進

洪水時の避難、水防活動、救援活動などの円滑で効率的な実施のため、関係機関との情報共有に努めるとともに、山形県河川・砂防情報システムにより、雨量、水位データを配信し、インターネットやメール配信により迅速で効率的な情報提供を行う。

自治体、地域と相談しながらソフト対策を強化

【取り組み例】

- ・ 情報配信のほか、現地で危険度を判断できる目安を設置する※
- ・ 洪水ハザードマップを用いて避難訓練等を支援する
- ・ 吉野川上流域などで水位計を増設し、情報提供を充実させる



※南陽市における設置例



織機川（南陽市漆山）



吉野川（南陽市赤湯）

人命保護を最優先にした緊急避難態勢の確立

